



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	49,644	1.2	4,587	26.0	4,890	39.6	3,955	37.6
29年3月期第3四半期	49,043	4.2	3,641	4.0	3,502	7.0	2,873	13.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,708百万円 (%) 29年3月期第3四半期 3,090百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	76.35	
29年3月期第3四半期	54.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	112,614	61,758	54.7	1,213.10
29年3月期	114,357	63,504	55.4	1,192.73

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 61,602百万円 29年3月期 63,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		16.00		16.00	32.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	1.8	5,000	10.1	5,200	17.2	4,100	15.7	79.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	53,119,190 株	29年3月期	53,119,190 株
期末自己株式数	2,338,645 株	29年3月期	4,192 株
期中平均株式数(四半期累計)	51,803,567 株	29年3月期3Q	53,115,221 株

30年3月期3Q

2,338,645 株

29年3月期

4,192 株

30年3月期3Q

51,803,567 株

29年3月期3Q

53,115,221 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として朝鮮半島情勢等に不安は残るものの、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しにより、全体としては引き続き緩やかな回復基調を辿りました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、薬価制度の大幅な見直しや後発医薬品の使用促進など医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、496億44百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。一方、利益につきましては、堅調な海外業績に加え、販管費の減少等の寄与により、営業利益45億87百万円（前年同四半期比26.0%増）、経常利益48億90百万円（前年同四半期比39.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億55百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」につきましては、国内において後発品および競合品の影響を受けたものの海外が順調に推移し、全体としては堅調な推移となりました。なお、国内においては、平成29年5月に1日1回の用法・用量の承認を取得いたしました。また、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort®

（国内販売名：「ゼンタコート®」）につきましては、国内・海外ともに堅調に売上を増加いたしました。なお、国内において平成29年12月より長期処方が可能となったことを受け、市場浸透に一層注力しております。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、売上を拡大してはおりますが、市場構築が計画対比では遅れる状況となっており、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

また、平成29年11月に『インフリキシマブBS点滴静注用100mg「日医工」』の共同プロモーションを開始し、消化器領域における製品ラインナップの充実を図っております。

これらの結果、当事業の売上高は、266億54百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」及び「ウイズワン®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。なお、平成29年10月に「ヘパリーゼ®スーパー 粒タイプ」、「ヘパリーゼ®Wプレミアム 粒タイプ」を発売し、製品ラインアップを強化いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、228億73百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億16百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,126億14百万円となり、前連結会計年度末対比17億42百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が418億20百万円で、前連結会計年度末対比30億55百万円の増加、固定資産が707億94百万円で、前連結会計年度末対比47億98百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加10億19百万円、受取手形及び売掛金の増加11億69百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加11億58百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、投資その他の資産の減少31億10百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は508億55百万円となり、前連結会計年度末対比2百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が369億58百万円で、前連結会計年度末対比82億19百万円の減少、固定負債が138億97百万円で、前連結会計年度末対比82億22百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の減少67億79百万円、未払法人税等の増加6億78百万円、賞与引当金の減少5億71百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少14億69百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加73億49百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は617億58百万円となり、前連結会計年度末対比17億45百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上39億55百万円、前期末及び当中間期の配当の実施17億16百万円、自己株式の増加47億30百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.7%低下し、54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画通りの進捗となりました。

第4四半期につきましては、引き続き海外業績は堅調に推移するものの、国内において、一部の製品で後発品や競合品の影響により売上が予想を下回る見通しです。また、第4四半期は研究開発費などの経費の増加を見込んでいることから、平成29年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	68,000	5,000	5,000	3,800	71.54
今回修正予想 (B)	66,000	5,000	5,200	4,100	79.53
増減額 (B-A)	△2,000	—	200	300	—
増減率 (%)	△2.9	—	4.0	7.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	64,849	4,541	4,438	3,544	66.73

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,250,770	10,270,329
受取手形及び売掛金	16,620,483	17,790,255
有価証券	100,000	7,064
商品及び製品	4,907,424	5,501,888
仕掛品	852,370	872,492
原材料及び貯蔵品	2,848,742	3,392,552
その他	4,218,589	4,007,934
貸倒引当金	△33,386	△21,877
流動資産合計	38,764,995	41,820,639
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,915,466	7,538,258
土地	11,698,480	11,700,851
その他（純額）	4,540,381	4,176,949
有形固定資産合計	24,154,328	23,416,059
無形固定資産		
のれん	9,240,155	8,856,967
販売権	17,922,410	17,174,771
その他	6,722,426	6,903,668
無形固定資産合計	33,884,992	32,935,407
投資その他の資産		
投資有価証券	9,206,415	6,189,783
退職給付に係る資産	7,686,879	7,535,202
その他	701,435	759,882
貸倒引当金	△41,378	△42,196
投資その他の資産合計	17,553,351	14,442,672
固定資産合計	75,592,673	70,794,139
資産合計	114,357,668	112,614,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,272,697	2,173,844
短期借入金	33,061,728	26,282,091
未払法人税等	403,135	1,081,304
賞与引当金	1,224,036	652,832
返品調整引当金	48,013	65,812
売上割戻引当金	129,095	133,159
その他	8,039,317	6,569,768
流動負債合計	45,178,025	36,958,813
固定負債		
長期借入金	2,884,150	10,233,280
退職給付に係る負債	757,497	997,055
資産除去債務	54,499	54,695
その他	1,978,849	2,612,060
固定負債合計	5,674,996	13,897,090
負債合計	50,853,021	50,855,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	39,654,887	41,893,495
自己株式	△5,283	△4,735,781
株主資本合計	57,928,123	55,436,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,982	730,802
為替換算調整勘定	2,520,848	2,806,987
退職給付に係る調整累計額	2,670,817	2,628,051
その他の包括利益累計額合計	5,423,648	6,165,840
非支配株主持分	152,874	156,799
純資産合計	63,504,646	61,758,874
負債純資産合計	114,357,668	112,614,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	49,043,445	49,644,552
売上原価	13,522,540	14,090,214
売上総利益	35,520,905	35,554,337
返品調整引当金戻入額	58,381	48,013
返品調整引当金繰入額	80,259	65,812
差引売上総利益	35,499,027	35,536,539
販売費及び一般管理費	31,857,695	30,948,926
営業利益	3,641,332	4,587,612
営業外収益		
受取利息	3,644	5,147
受取配当金	226,766	178,542
為替差益	—	209,672
その他	117,999	86,170
営業外収益合計	348,409	479,532
営業外費用		
支払利息	207,215	148,185
為替差損	194,330	—
その他	85,602	28,176
営業外費用合計	487,148	176,361
経常利益	3,502,592	4,890,784
特別利益		
投資有価証券売却益	774,085	690,562
特別利益合計	774,085	690,562
特別損失		
固定資産除却損	2,162	4,283
特別損失合計	2,162	4,283
税金等調整前四半期純利益	4,274,515	5,577,063
法人税等	1,373,669	1,603,070
四半期純利益	2,900,845	3,973,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,137	18,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,873,707	3,955,110

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,900,845	3,973,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415,105	498,819
為替換算調整勘定	△5,455,046	278,392
退職給付に係る調整額	△121,575	△42,766
その他の包括利益合計	△5,991,727	734,445
四半期包括利益	△3,090,881	4,708,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,065,693	4,697,301
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,188	11,136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,821,515	23,114,783	48,936,298	107,146	49,043,445	—	49,043,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	153	153	427,397	427,551	△427,551	—
計	25,821,515	23,114,936	48,936,452	534,544	49,470,996	△427,551	49,043,445
セグメント利益	1,337,382	6,127,371	7,464,753	187,941	7,652,695	△4,011,363	3,641,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,011,363千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,654,612	22,873,285	49,527,897	116,654	49,644,552	—	49,644,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	92	92	449,712	449,805	△449,805	—
計	26,654,612	22,873,378	49,527,990	566,367	50,094,357	△449,805	49,644,552
セグメント利益	3,020,420	5,203,041	8,223,462	194,974	8,418,436	△3,830,823	4,587,612

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,830,823千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	26,654,612	3.2
コンシューマーヘルスケア事業	22,873,285	△1.0
報告セグメント計	49,527,897	1.2
その他	116,654	8.9
合 計	49,644,552	1.2

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成30年2月6日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
平成29年5月18日	Z-206/メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア (協和発酵キリン との共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品